

# 南会津 のうりんニュース



平成20年12月(第127号)

今月の写真：白衣をまとった町(南会津町田島地域)

寒い寒いと思っていたら、あっという間に町は白く包まれました。紅く頬を染めていた山々も、今は綺麗な雪化粧。そんな寒さの中でも、子どもは白い絨毯の上を元気に走り回っています。リンゴのように頬を染めた子どもは、白い町の太陽なのではないでしょうか。

今月の内容：

- 今月のトピックス
  - ・下郷町からきのこで元気な地域づくり
  - ・みんなで楽しいお餅つき!!
  - ・ヤギによるサル対策について
  - ・ぼくもわたしも野菜ソムリエになったよ!
  - ・南会津地方“ゆきぐに農業”推進事業検討会開催!!  
～“ゆき”にも負けない農業を南会津へ～
- 特集
  - ・「ふくしま食と農の絆づくり運動」について
- コラム
  - ・ハーブな気分
- 農林事務所からのお知らせ
  - ・認定農業者募集
  - ・食品表示早わかり講座開催

平成20年12月10日発行 福島県南会津農林事務所

## 今月のトピックス



取り組み内容を発表する渡部善一さん

### 下郷町からきのこで元気な地域づくり

第33回福島県林業祭が、10月25、26日の2日間、郡山市の福島県林業研究センターをメイン会場に開催され、2日間で約5,000人もの方々が来場しました。

25日には、併催行事として福島県森林林業振興大会が開催されました。基調講演に続いて、県内の林業分野で活躍する方々の活動が報告されました。南会津地方では、きのこ生産者を代表して、下郷町林業振興協会長の渡部善一さんから、これまでの「満点なめこ」や「ハタケシメジ」といったきのこの特産品化の取り組みを通じて、地域の活性化を目指してきた内容についての発表がありました。

また、林業祭と同会場で開催された第37回福島県きのこ品評会の「なめこ・ひらたけ部門」においては、

下郷町林業振興協会から渡部善一さんのヒラタケが福島県知事賞を、星繁夫さんのヒラタケが社団法人福島県林業協会賞をそれぞれ受賞されました。

今後も、きのこ栽培がますます元気な地域づくりに結び付いていくことが期待されます。

(森林林業部)

### みんなで楽しいお餅つき!!

児童が待ちに待った収穫祭と学習発表会が、10月26日に南会津町立田島第二小学校にて行われました。

収穫祭では、親子が協力してついた餅を、つゆ、あんこ、きなこ、納豆などからめて、

全校児童・保護者・先生が輪となり、青空の下で楽しく食べました。

学習発表会では、一年間の活動写真や収穫したお米を展示したり、田んぼの生き物や森林など、環境に関して調べたことを報告しました。

春先から「田んぼの学校」で体験したことを通して、この中から将来の農業の担い手が育ってくれることを期待しています。

(企画部・農業振興普及部・農村整備部)



みんなで仲良くペタンコ!

児童が待ちに待った収穫祭と学習発表会が、10月26日に南会津町立田島第二小学校にて行われました。



学習発表をする児童

## 🌿 ヤギによるサル対策について

南 会津地域でのサルによる農作物被害は、年々深刻になりつつあります。今までも、駆除隊による駆除、防護柵の設置、爆音器や花火による追い上げ等、各種の対策がとられていますが、いずれの対策も単独ではなかなか効果があがらないのが実情です。一方、当地域においては、被害の多くが自家用野菜の畑であり、対策にあまりお金や労力がかけられないという事情もあります。

そうした背景をふまえ、農業振興普及部では、地方振興局の「過疎・中山間地域連携事業」を活用し、今年度「ヤギによる防除技術実証ほ」を南会津町耻風地区と下郷町音金地区の2カ所に設け、効果の実証を行いました。つなぎ飼いを行ったのは、いずれもリンゴ園で、耻風地区ではオス2頭を7月中旬から11月中旬まで、音金地区ではメス2頭を9月中旬から11月中旬まで放しました。

耻風地区においては、①子ヤギを導入したため、導入当初は効果が見られなかった②リンゴ園が広く、

2頭の行動範囲ではカバーしきれなかった、という反省点はありましたが、後半成長して匂いも出てくるようになると、ヤギのいる場所を避けてサルが襲来するなど、サルがヤギを忌避していることが推測される結果が得られました。

一方、音金地区においては、耻風地区での反省もふまえ、サルが侵入する三方のうち、二方に簡易な柵を設け、ヤギの守る範囲を残る一方に限定して実施しました。毎年9月以降群れでの襲撃がありましたが、今年は1度もなく、被害は激減しました。付近にサルの出没はあるものの、園内への侵入はありませんでした。

今年の結果をふまえ、ヤギの頭数、つなぎ位置などについて再度検討し、みなさんが利用できる技術として確立できるよう、今後も検証を進めていきます。  
(農業振興普及部)



リンゴ園を見守るヤギ

## 🌿 ぼくもわたしも野菜ソムリエになったよ！

6 月に開講した「キッズ野菜ソムリエ養成講座」(南会津教育事務所主催)は、11月15日に只見町朝日地区センターで最終講座を迎えました。

7回に渡り、17名の児童・園児が、トマト・ダイコン・ハクサイの栽培、トマト選果場・下水浄化センター見学等を体験してきました。

最終講では、受講生やその保護者ら約30名が、ダイコンの肉詰め、ハクサイとサケのクリーム煮、鶏肉のトマト煮等4品を調理し、講師と共に味わい



お姉ちゃん、大丈夫？

ました。

試食後、「ソムリエ修了検定」に挑戦した各受講生は見事全員合格!! 講師へ感謝メッセージを贈呈し、「終了認定証」と記念写真集を受け取って、全ての課程を修了しました。

この講座を通して、親子共に食材や農業への関心が高まり、食や生産者へ感謝する心が育ったように思い

ます。今後の活躍を期待しているよ、キッズ野菜ソムリエたち!

(企画部・農業振興普及部)

## 🌿 南会津地方“ゆきぐに農業”推進事業検討会開催!!

### ～“ゆき”にも負けない農業を南会津へ～

“雪が降ったら畑仕事はお休みだ!”皆さんそんなふうには思いこんではいないでしょうか? 南会津農林事務所では、冬期間の農業活動を模索するため、去る11月11日に「平成20年度南会津地方“ゆきぐに農業”推進事業検討会」を開催しました。

本格的な降雪時期を前に、昨年度の結果を踏まえながら、上半期の活動結果報告と下半期に行う栽培内容の検討を行いました。今年度は、昨年に引き続き雪室でのダイコンの保存実証調査や、県立田島高等学校の鉄骨ハウスを活用した高校生による冬イチゴの



検討会の様子

栽培を行う予定です。高校生が頑張って栽培したイチゴは、ジャムに加工されるほか、生食用にパック詰めして提供されます。また、新しい取り組みとして、収益率の高いハウレンソウ等の薬物やアスパラガス促成栽培の実証調査も行います。どうしても「冬に野菜を作るなんて、暖房代がかさむのではないか?」とのイメージがある冬の農業ですが、無加温の薬物を栽培する等、エコな栽培を行うことで、冬期間の農業収入につながるのではないのでしょうか?

今後、これらに対する理解を深めるために、農業者の方を中心に南会津地方の実証農家を巡る研修会を計画しています。皆さんも一緒に“ゆきぐに農業”をやってみませんか?

(企画部・農業振興普及部・森林林業部)

# 「ふくしま食と農の絆づくり運動」について

読者の皆さん、「ふくしま食と農の絆づくり運動」を御存知ですか？

右のロゴマークを見かけたことがありますか？

『消費者と農業者が価値観を共有し、相互の理解を深め、交流を拡大することにより、「食」・「農」・「環境」を一体のものとして、ふくしまの農業の持続的な発展を目指す』ことを目的として展開しています。この運動は、福島県農林水産部(各農林事務

所)ほか食と農に携わる様々な組織が協力して推進しており、

南会津では、「ふくしま食と農の絆づくり運動南会津地方本部\*」がその母体となっています。

今回は、この運動の一環で開催した2つの交流会について紹介します。



ふるさとの  
心でつながる、  
食と農

## ●『森と大地の恵み体験ツアー南会津2008』

昨年度から始めたこのツアーですが、今年は特に「園芸産地の応援」をテーマとし、森林環境税による水源地の森林整備現場見学・学習と併せて開催しました。

郡内の親子など43名が、南郷トマトほ場での収穫体験・トマト選果場見学、農産物直売所での農家との交流、牧場での肉・乳牛生産現場見学・体験を



子牛とふれあう

しました。さらに、昼食会では、南郷婦人会ほかの協力を得て、トマトやキノコなど地域の農林産物をふんだんに使った「恵みのランチ」や、牧場のしぼりたての生乳から

製造した手作りチーズ、リンゴジュースやトマトジュースなどを試食・試飲しました。

収穫末期の甘さがぐーんと増したトマトを自由に収穫したり、子牛に触れ授乳を体験したり、郷土料理のお話を聞きながら食べたりすることで、森や大地の恵みを実感すると共に、食や農林業の重要さや地域文化の大切さを再認識していたようです。「トマトは漬物にしても美味しいね!」「かわいい子牛も食肉になってしまうんだね…」「農家の顔が見える直売所は安心感があるよ」「森林環境税がこんなふうに使われていることが分かった」という感想が聞かれました。



トマトの収穫体験

## ●『有機農産物生産者と消費者の絆づくり交流会～旬の会津うまいもの発見隊～』

南会津・会津農林事務所共催で、会津全域の一般消費者約60名と共に、会津美里町で有機農産物生産者との交流会を開催しました。

今回は、鹿野義治さんが会長を務める有機農産物生産者グループ『会津自然塾』会員のほ場を訪問し、有機農産物の試食をしました。活動の柱として有機農産物の宅配事業に取り組み、生産者と消費者をつなぐ交流事業の中心として「会津自然塾だより」の定期発行など、交流の輪を拡げている皆さんです。

参加した一般消費者は、「有機農産物についての話をこんなに聞いたのは初めて。とても勉強になった」、「今まで関心がなかったが、今後は有機野菜に

ついて考えていきたい」、「生産者の知識や取組みへの姿を拝見し、ご苦労も多いと思うが、皆さん元気ハツラツ輝いていた」など、生産者への理解や有機農産物の認識を新たにしました。

12月には、中野大徳さん(只見町)が生産している「有機米(コシヒカリ)」を題材に、有機農産物の理解を深める研修会を開催しますので、後日「のうりんニュース」でその様子をお知らせします。



生産者のお話を聞く

このほかにも、様々な取組みをしていきます。交流会や直売所などでロゴマークを見かけたら、「食と農の絆づくり運動」を思い出してくださいね!!

※「ふくしま食と農の絆づくり運動南会津地方本部」構成団体

南会津町消費生活研究会、南会津商工会長協議会、指導農業士2名、NPO法人エイ・アール・エス、NPO法人南会津グリーンストッククラブ、南会津調理師会、南会津直売所・加工所ネットワーク、JA会津みなみほか農業関係2団体、水土里ネット福島南会津支部、南会津地方森林組合連絡協議会、郡内各町村及び各農業委員会、会津家畜保健衛生所、南会津農林事務所

(所内各部)



あ 秋の休日、二日酔い気味の遅い朝。以前近くのハーブ園で試しに買ったローズヒップティを飲んだ。(んーっ、これは!)ローズピンクの芳しい香りを追いかけるように、心地よい酸味が口の中にばあっと広がる。と、次の瞬間、頭と身体がすっきりした感じになった。能書きをみると、ビタミンCが豊富に含まれているため美容にもいいらしい。

そこで、ハーブについて少し調べてみた。

古くからヨーロッパでは、ハーブの酢漬けを飲んだり身体につけると薬効があることが知られており、中世に流行したペスト(黒死病)の蔓延を防いだのもハーブの知識とされる。しかし、この知識を持つ人々がハーブを魔よけとして宗教的に使うようになったため、キリスト教から弾圧されたともいわれている。

こうしたことから、ローマ教会(カトリック)の影響

の少ないイギリスで、ハーブガーデンを始めとしたハーブの知識が多く残り、現代では、ハーブのもつ抗酸化力と免疫力をひきだす代替医療の利用が進められているという。

おっと、そんなことより効能だ。なにに、ペパーミントは清涼感があり二日酔いと船酔い、タイムは殺菌力でインフルエンザや炎症、そしてカモミールは不眠症か…。

なるほど。するとこの冬は、子どもが風邪予防でタイム、肌荒れが気になる妻にはローズヒップ、そして私は清涼感でペパーミントにしてみるか。ついでに実家の祖母さんにはカモミールを薦めてみようっと。(ちと無理矢理か(^o^))

総務部主幹兼副部長兼総務課長 五十嵐 明

農林事務所からお知らせ

あなたも認定農業者になりませんか

平成20年11月1日から平成21年1月31日まで、「いきいきファーマー育成確保月間」です。



認定農業者(いきいきファーマー)とは、地域の農業の担い手として、町から農業経営改善計画(5年間)の認定を受けた農業経営者、農業生産法人をいいます。認定を受けると、水田経営所得安定対策の加入をはじめ各種の助成や金融措置な

ど支援を受けることができるようになります。期間中は、より重点的に皆様からの相談の受付などを行います。詳しくは各町担当課または農業振興普及部(電話0241-62-5264)までお問い合わせください。(農業振興普及部)

水田経営所得安定対策では、「自ら販売先と文書等で販売契約を結んで販売の対象としたもの」も交付の対象になります。20年産からは直販における市場価格との価格連動等は必要がなくなり、より加入がしやすくなりました。

肥料等の値上がりへの支援事業が行われます。  
[http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/nenyu\\_koutou/index.html](http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/nenyu_koutou/index.html) (農林水産省HP)

食品表示早わかり講座を開催します

農 林事務所では、今関心が高まっている食品の表示について、決められた表示を適切に行うことができるよう、南会津保健所と共催で「JAS法と食品衛生法の表示基準の解説と表示の作成練習、食品営業の許可制度の解説」を農産物直売所・加工所関係者や食品製造・販売者等の方を対象に右記のとおり開催します。受講は無料です。詳しくは企画部(電話0241-62-5252)までお問い合わせください。(企画部)

	日時	会場
第1回	平成20年12月24日(水) 13:30~15:30	只見地区センター
第2回	平成20年1月14日(水) 13:30~15:30	南郷総合センター
第3回	平成21年1月21日(水) 13:30~15:30	御蔵入交流館

お問い合わせ先はこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課  
 〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1  
 電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256  
 電子メール minamiaizu.nourin@pref.fukushima.jp  
 ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>

バックナンバーはこちらから



ふくしま食と農の絆づくり運動

みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

PRINTED WITH SOY INK™ この広報誌はSOY(大豆油)インキを使用しています。